



講師 / 理学士

平松 正尚

Masanao Hiramatsu

学歴

大阪大学 理学部 高分子学科 卒業

経歴

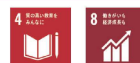
敦賀市立敦賀南小学校教諭 福井県立武生東高等学校教諭、福井県立武生高等学校教諭、福井県立高志高等学校教諭 福井県教育庁高校教育課指導主事、主任 福井県立敦賀高等学校教頭、校長 福井県立若狭高等学校校長 福井県立高志高等学校校長 福井県高等学校長協会副会長

相談・講演・共同研究に応じられるテーマ

教職全般 進路指導 生徒指導 教職支援 教員養成 理科教育

メールアドレス

m-hiramatsu@fukui-ut.ac.jp



主な研究と特徴

「高等学校教育の変遷について」

大学卒業後小学校に勤務したのち高校に異動し、以来高校教育に携わるようになった。
最初の高校である武生東高校は、生徒の増加に対応するため1987年に新設された。新たな学科「国際科」を設置し特色とするとともに、中学生をはじめとする地域の方々に認めていただけるよう、必死に結果を追い求めていた。厳格な学習・生徒指導、生徒の生活時間の管理、および生徒の努力と教職員の勤務時間を気にしない働きにより、大きな成果を生むこととなった。当時は教育諸活動を行うにあたり、多くの時間を使い、画一的に取り組ませることが有効であったからと思われる。

その後、教育庁に異動したころから高校教育を取り巻く状況が一変する。まず高校入試における学区が撤廃され、福井県内全ての高校が受験できるようになった。各校には一層の特色づくりが求められ、私立高校だけでなく県立高校間にも新たな競合関係が生まれることとなった。「総合的な学習の時間」や理科教育にとって画期的だった「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」もこの頃から実施されている。これまでの教育が大きく変わり、教科指導を行うことが目的だった時代から、教科で身に付けた力を用いてどのように生きていくか、が重要となっていった。

同時に生徒や保護者、地域の方々の学校に対し期待する事項も変化していく。結果だけを追い求めるのではなく、進路指導、生徒指導において生徒の思いを尊重し状況をともに考え、生徒に豊かな人生を送ることができるようにサポートする姿勢が求められてきた。本学学生に対しても、例えば“教職支援”において、欠点を指摘し改善することに加えて、教職に就きたい気持ち、若さ、そして元気を重視し、それらを伸ばしていくことができるように力づけていくことが重要と考えている。

教員生活の約半分は行政と管理職（教頭・校長）を経験することになったため、学校外の皆さんとお話する機会を多く持つことができた。学校に協力し支援したいという気持ちを持ち、さらに技術・資格・経験は教育に大きな効果を与えるとともに、生徒の興味関心を大いに喚起する。現在これらの方々が持つ力は、「総合的な学習の時間」をはじめ、各教科・科目でも必要不可欠となっている。一方学校内では教育活動を組織的に行うことができるように、教職員とのコミュニケーションを綿密に取ることが重要と感じている。先輩と後輩の関係は生徒間には見られなくなっているが、教員間にもほぼ存在しなくなっている。この点は重視されないが、教職員のメンタルヘルスを考える上では、考えておかねばならない点である。

高等学校教育の変遷に多く関わり、管理職として悩み、失敗したことなどを学生に伝え、前述の“教職に就きたい気持ち”“若さ”そして“元気”を伸ばしていきたいと考えている。

今後の展望

本学では教職に関する科目の受講者は、学年が進むにつれて減少し、4年生の「教育実習」「教職実践演習」の受講者は、1年生で「教職論」を選択した人数の半数以下になっている。

一方、各自治体が実施する教員採用試験の倍率は徐々に下がり、福井県においても4倍程度となっている。

要因として考えられるのは、定年退職を含む退職教員の増加と一部報道による教員という職業の過酷さである。つまり、体罰、いじめや行き過ぎた部活動等の今日的課題、そして民間企業との労働環境の格差により敬遠する、ということである。

「教育実習Ⅰ・Ⅱ」「総合的な学習の時間の指導法」「教職論」「教職実践演習」「生徒・進路指導論」の授業では、理論に加えて実務を加味した内容を取り扱う。

学校には様々な考え方を持つ生徒、保護者そして教職員が生活している。そのため、教職員として必要な教科指導力、知識、技術を身に付けるとともに、いろいろな価値観を持つことの重要性を認識し行動できる教職員になるように指導していきたい。

所属学会

なし

主要論文・著書

2015年度全国高等学校長会総会発表「地域の拠点校としての在り方について～学科再編を新たな活力に！SSHと授業改善（アクティブ・ラーニング）の取組～」